

# CASBEE®広島

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

<b>1-1 建物概要</b>		<b>1-2 外観</b>	
建物名称	(仮称)RYOWA TRINITY TOWN共同	階数	地上10F
建設地	広島市西区福島町二丁目20-2	構造	RC造
用途地域	都市計画区域内(市街化区域)	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	飲食店,病院,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年4月 予定	評価の実施日	2023年3月10日
敷地面積	1,392㎡	作成者	村田友弘
建築面積	442㎡	確認日	2023年3月13日
延床面積	2,989㎡	確認者	蛭子 宗夫

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

<b>2-1 建築物の環境効率(BEEランク&amp;チャート)</b>	<b>2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)</b>	<b>2-3 大項目の評価(レーダーチャート)</b>
<p>BEE = 0.6</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p> <p>環境品質 G</p> <p>環境負荷 L</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

<b>2-4 中項目の評価(バーチャート)</b>		
Q 環境品質 <b>Qのスコア = 2.4</b>		
<b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 2.1 音環境 3.0, 温熱環境 1.9, 光・視環境 1.8, 空気質環境 2.3	<b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 2.7 機能性 2.4, 耐用性 2.9, 対応性 2.9	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 2.5 生物環境 2.0, まちなみ 3.0, 地域性 2.5
LR 環境負荷低減性 <b>LRのスコア = 2.8</b>		
<b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 2.5 建物外皮の 1.0, 自然エネ 3.0, 設備ンステ 2.9, 効率的 3.0	<b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 2.9 水資源 3.4, 非再生材料の 2.9, 汚染物質 2.8	<b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.1 地球温暖化 3.3, 地域環境 3.1, 周辺環境 3.0

<b>3 広島市の重点項目</b>		
重点項目の総平均スコア = 2.7		
<b>「地球温暖化対策」の推進</b> スコア = 2.7 設計の計画に特段に配慮した事項 // 高効率熱源機器の採用 // 節水型洋風便器・小便器の採用 // 高効率熱源機器の採用により省エネ化を図りCO <sub>2</sub> の削減	<b>「ヒートアイランド対策」の推進</b> スコア = 2.3 設計の計画に特段に配慮した事項 / 駐車場の確保	<b>「長寿命化対策」の推進</b> スコア = 3.0 設計の計画に特段に配慮した事項 給排水配管の2種類耐用年数C以上の採用 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される